



送別会の一コマ



吉田光延 画

発行
 社会福祉法人いわき福音協会
 はまなす 荘
 いわき市平中平窪字二堂田2
 千970-8002 ☎(0246) 8711
 メール hamanasu@lagoon.ocn.ne.jp
 ホームページ http://hamanasu.i-fukuin.com
 編集責任
 はまなす荘新聞編集委員会

新年度のスタートです。介護・障がい分野において、報酬単価が改定されます。我々が障がい分野は、プライマイゼロであるが増える所があれば減る所があります。GHの支援区分4〜6の大幅アップや行動障がいの加算は、国の方針として重たくても地域移行を促す予算です。その点は大いに評価できると思います。ただ、私も数年前GHを担当しましたが、軽い人程手がかかり、解決策がなく大変でした。現在『宿泊型自立訓練事業所・はまゆう』を兼務しますが、軽いと言われる人達が実生活では色々問題があり、軽度加算金 が欲しいくらいであり、線引きの難しさを痛感しております。

一方、『入所支援施設・はまなす荘』としては、夜間支援に三人配置しなければならぬ程支援度が高いのに単価的にはあまりにも低すぎるな

自由

所長：庄 司 博 文

何が幸せかを求めていきたいと思えます。支援は勿論ですが、経営においても職員・保護者の皆さんや関係者一同の協力を得てより良い方向にして行きたいと思えます。

ど実態に合わない面もあります。今後、入所支援施設関係は、将来に向けてどうあるべきかを模索する時代になっていくと思えます。

さて、地域支援部会の役員会が先月東京で開催された時に部会長が「近年制度の激変が何度もあり、我々管理者は制度や単価・加算とあまりにも振り回され過ぎて来たと思う。ここいらで、利用者の支援の原点に立ち返るべき議論があってもいいよね。」と解釈される発言がありました。私としては大いに賛同するものであり、利用者さんの個別支援が最優先される時代、



南限の花

「坐相正しければ心これに従う」という言葉がある。

姿勢が正しければ心もすっきりと正しくなる。逆に姿勢が乱れると心も乱れ、心が乱れると悩みや弱い心に付け込まれるようになる。見た目の事だけではなく、すべての事にあてはまる。

自分の日々の生活といえは時間に追われ、体を調え、呼吸を調え、心を調える、とはまるでかけ離れている。なかなか難しい。勤務内容が変わり約半年が過ぎた。まだまだ緊張の連続だが、新年度になり謙虚な姿勢で仕事に向き合い姿勢を正して取り組んでいきたいと思えます。良い姿勢は一生の財産ともなるのだから。

平成27年度事業計画

今年度、はまなす荘は①日中活動の充実を図ること。作業班や運動班においては利用者の障害特性や希望を考慮し個別プログラムに基いて支援をしていきます。②利用者の地域移行については二十六年八月に地域生活体験支援事業を利用し四名の方が実施した結果「地域の中で生活してみたい」との想いを胸に抱いているので今年度も一人でも多く地域移行できるよう支援していきます。③利用者の職住分離(昼夜分離)をすすめる



ため他の事業所の幅を広げ利用者同士の交流を図ります。④健康管理については利用者の高齢化に伴い対応するため内部研修や高齢者の施設を見学し介護力アップに繋げてい

平成27年度行事予定

今年度も、利用者の皆様が、楽しみにしている花見や、暑気払い、福祉祭、クリスマス忘年会等を中心に、四季折々の行事を予定しています。四季に恵まれた日本の伝統的な行事を大切に、施設においても四季を感じて生活していただきたいと思います。

また、グループ旅行や外出活動・ライフサポート等は、利用者さん一人ひとりの希望が叶えられるように計画していきます。さらに、保護者の皆様との関係を密にすると共に施設内の状況を報告する場を設けるために、レクリエーションや状況報告会、面会日、

保護者との一泊研修

さる三月七日、八日に恒例となつた保護者との一泊研修が、かんぽの宿で開催されました。

今回は、保護者きたい。また今年度も理学療法士にかかわっていたき個別プログラムに沿って訓練を行っていきます。食事関係については、高齢化に伴い、嚥下に気を付け栄養ケアマネジメントを医務・支援と連携し利用者の一人ひとりにあったケアを心掛けていきます。

一泊研修を開催します。地域の方々との関わりも大切にし、ボランティアを積極的に受け入れるのは勿論のこと、地域での行事にも参加します。そして、一人でも多くの理解者・協力が増え、障がい者が地域で生活しやすい環境が整うように働きかけていきます。

の皆様が一番関心を持っていらっしゃる日中活動を中心に、福祉サービスの流れや自活訓練の取り組みを報告させていただきました。百聞は一見に如かずと言つことで、実際の活動の様子をビデオ撮影した映像をご覧いただきながら、説明しました。保護者の方々からは、「こんなことをやっていたのですね」等の率直な感想も聞かれました。

その後は、業務に追われて、時間が取れない支援員からの要望で、保護者の方と担当職員が個別に話し合う時間を設けました。

懇親会では、昨年の反省をもとに、早めに宴会場とカラオケを手配しましたが、保護者の方々との会話が盛り上がり、カラオケを楽しむ時間はなかったようです。

保護者の皆様と職員が、忌憚なく意見交換し、親睦を深める良い研修だったと思えます。

面会日

二月十八日、「面会日」があり多くの保護者に来所して頂きました。

今回は、保護者の皆様に、利用者の皆様の活動風景や生活場面をビデオに撮って、実際にどのような生活を送っているか見て頂くという内容で実施しました。

映像で見て頂くことで、保護者の皆様からも、普段なかなか見る事の出来ない様子を見る事が出来てよかった、とのご意見を頂き、また、見て初めて気付いた点を話して頂くなど、保護者の皆様と職員が意見交換をする良い機会となりました。

今後も継続して、利用者の皆様の生活を出来るだけわかりやすく伝えていく機会を持つことで、風通し良く安心出来る生活環境作りを進めて行きたいと思っています。



節分



二月三日(火)、はまなす 荘食堂にて恒例の節分の豆まきが行われました。実習生二名に節分にちなんだ紙芝居を 読んで頂き、それから豆まき を行いました。今年の年男・ 年女は男性一名・女性五名と 人数も多く、「鬼は外!福は 内!」と豆に見立てたペット ボトルのキャップをぶつけて 鬼を退治し、一年間の健康を 祈願し、たくさんの福を呼び 入れました。豆まきの後はお 楽しみの甘酒と甘納豆を頂き、 今年の節分を終えました。



ひな祭



三月三日(火)、食堂にて ひな祭が行われました。 食堂に飾られた七段のお雛 様に見守られ、職員によるひ な祭の絵本の読み聞かせを行 いました。また、ひな祭の歌 に合わせて踊りも楽しみ、盛 り上がる事が出来ました。お 雛様の由来についての説明後、 甘くてふわふわなおやつと甘 酒を頂き、今年のひな祭りは 終わりました。

お雛様、また来年もよろし くお願いします。



功労賞

三月三十一日(火)平成 二十六年年度の功労賞の授与式 を行いました。所長特別賞坂 路城新さん、男子棟より澤田 昌史さん、女子棟より篠原め ぐみさん、日中活動の各班か ら一名ずつ選ばれました。せ んたく班八巻隆さん、あおぞ ら班大平裕章さん、ひまわり 班松村久美子さん、さくら班 齊藤久美子さん、さきおり班 金成光則さんの八名でした。 他のみなさんも一年間よく頑 張りました。来年度も元気に 活動に参加しましょう。



合同避難訓練

三月十九日に福祉 の町合同避難訓練を 実施しました。

近隣の施設や学校 と火災発生時の連絡 体制や応援体制につ いて確認を行いました。電話は使えない と想定しトランシー

バーでやり取りを行いまし た。備えがあっても使い方を間違ってしまうば意味がありません。災害に備え、施設の設定も素晴らしいものもあります。防災への意識は言われて得られるものではないと思っています。訓練を通し体験することで一人一人が防災への意識を高めて欲しいと思います。今回の訓練では、消防署の協力を頂き、スモークマシンによる煙の体験を行いました。作業場を煙で充滿させ室内を一周してくるだけなのですが、煙で前が見えないというのは純粹に怖い



と感じます。普段何気なくいる場所であっても、いっ どうなるか分からないと改めて感じました。そんな中、利用者の方が自然とハンカチで口を覆っていたことに感動しました。

訓練に参加して頂いた平消防署と近隣事業所の皆様、ありがとうございました。



男子棟

平成二十六年度においては、各季節毎の行事やボランティアの方による外出支援など楽しい時間を持つ事ができていました。また、健康面においてもインフルエンザの発症等なく、一年間健康に留意して生活する事ができていました。

八月からは震災により中断していた自活訓練事業が敷地内の世帯寮において再開され、二名の方が地域での生活を自指して世話人さんの支援のもと生活場面の訓練など実施してきました。今後は本人の希望に沿いながら地域への移行を進めていければと思っております。来年度も健康に留意し一人一人楽しみを持って生活できるよう支援していきます。

女子棟

平成二十六年度は、花見から始まり、クリスマス・忘年会と季節ごとの行事やボランティアの方々による外出など、一年を通して楽しいひと時を感じる事が出来ました。

しかしその反面、あってはならない事故を起こしてしま

いました。職員は、仕事に対する責任感を意識し、また、報・連・相の重大さを再確認してきました。

八月には、自活訓練が再開し、二名の方が世話人さんの支援のもと、家庭的な雰囲気味わいながら訓練を行ってきました。この訓練を地域移行に繋げていければと思います。次年度も健康に留意し一人ひとり楽しみを持って生活出来るよう支援してまいります。

一年を振り返って

厨房

同じ法人でも、こうも違うものかと、ただただビックリ続きの一年でした。療護園が静なら、はまなすは動いていた具合で、先ずは動く利用者さんに驚いていました。

食の分野では、利用者さん達と接する中で、色々な課題が見えてきた一年でした。今

後は、多様化していくであろう利用者さん達に、どのような食の環境を提供し健康管理をしていくか、皆さんと共に考えていきたいと思えます。



医務

桜の開花が待ち遠しいこの時期、あっといふ間の一年間を振り返り、さまざま思いが頭を巡ります。利用者さんとの別れと出会いもあり事故もありましたが、この一年を通して、職員全員が個々に仕事に対して責任を持つ事を常に意識し、事故防止に取り組

んできた一年であり、今後も継続していかなければなりません。また長年一緒に仕事をした職員との別れもあり、また出会いもあり利用者さんも心落ち着かない日々だと思えますが、四月のお花見からスタートし、みんなで元気に楽しい思い出作りの始まりです。来年の同じ時期に、「楽しい一年を過ごせた」と利用者さん皆が思い感してくれる一年にしたいと思えます。

指定障害者支援施設『はまなす荘』 ボランティア募集

指定障害者支援施設『はまなす荘』ではボランティアを募集しております。是非、ご協力お願い致します。

～ 主なボランティア活動紹介 ～

* 休日の外出付き添い (有償ボランティア)



・休日に買い物、外食などを行うため、外出の付き添いを行っていただいています。

* 調理実習



・利用者と共に食材の買物と調理を行っています。

* 活動、行事のお手伝い

・日中活動の手伝いを
していただいています。
・利用者さんの話し相手
になっていただいています。



* サークル・クラブ活動

・おやつや小物作りの活動
を行っていただいています。
・茶道の指導をして
いただいています。

* その他活動



・月に数回、レクリエーションを行っていただいています。
・月毎や隔月毎に散髪や美容を行っていただいています。
・不定期で、コンサートを行っていただいています。

関心を持たれた方は、お気軽に下記までご連絡下さい。

— お問い合わせ先 —
社会福祉法人いわき福音協会 指定障害者支援施設 はまなす荘
住所 いわき市平中平窪字二堂田2番地

TEL 23-8711

FAX 23-8712

担当：西山まで

ボランティア 懇談会

三月二十八日、ボランティア活動懇談会を行いました。一年間の活動を振り返り、次年度に向けての改善点等の確認を行いました。改めてボランティアの方々の力やその



存在の大きさを実感することが出来ました。ボランティア活動を継続していくことは本当に大変なことだと思



いますが、はまなす荘にとってなくてはならない存在になっております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

自活訓練より

八月一日より、約一年半ぶりに自活訓練が再開となりました。

グループ名も、今までの様な数字から変更し、男子がいきいグループ、女子がすこやかグループとなりました。

現在、男子二名、女子二名の計四名で実施しています。

利用者の皆さんは、世話人さんと一緒に、家庭的な雰囲気を楽しんでおり、明るく和やかに自活での生活を楽しんでおり、話を聞くと、毎回、「楽しい」



この言葉が聞かれます。今後も、自活訓練は継続し、利用者さんより希望があれば、地域生活移行できるような事業所と連携して取り組んでいきたいと思えます。



ニューフェイス紹介

①高木郁夫 (たかきいくお)
 ②総務課長
 ③スポーツ観戦・犬との散歩
 ④はまぎく荘から異動してきました。支援業務から総務ということで、気分一新何ごとにも取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願ひします。



①藤間俊江 (とうまとしえ)
 ②支援係長
 ③裁縫
 ④再びはまなす荘の皆様と共に笑い、共に学び、共に感動し、有意義な日々を送れることを感謝します。皆様が見望む生活ができるように心身共に寄り添い支援します。



①青田真記 (あおたまさき)
 ②支援員
 ③体を動かす事
 ④はまなす荘の利用者さんの笑顔が今以上に多く見られるよう、何事にも積極的に取り組んでいきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。



- ①名前
- ②職種
- ③趣味・特技
- ④抱負

①新妻成記 (にいつまなるき)
 ②契約支援員
 ③ドライブ
 ④約一年間支援員補助として働いていたので、面識はあるかと思ひますが今年度からは、職員として改めてよろしくお願ひします。



①村野真由美 (むらのまゆみ)
 ②契約支援員
 ③山歩き・弓道・座禅
 ④利用者さんとコミュニケーションを解し円滑に安定した生活ができるように、日課をスムーズに過ごせるように、考え工夫しながら毎日試行錯誤していきたいと思ひます。



退所者紹介

氏家富子さんが、二月九日付けで退所となり、野の花ホームへ移行となりました。これからも健康に気を付けて、新しい生活を楽しんで下さい。

利用者紹介

三月三日付けで阿部美砂紀さんがはまなす荘入所となりました。四月一日より、新しく生活介護利用者さんが増えました。大峯健太郎さん・遠藤和希さん・藤田優希さんの三名が加わりました。

仲良く楽しく、はまなす荘での生活を送ってもらいたいと思ひます。

異動・退職職員

尾形長子次長が野の花ホームへ異動されました。栗村嘉起支援係長が就労生活支援センターへ異動されました。

蛭田美幸主任支援員が、は

まぎく荘へ異動されました。安齋真弓支援員補助がふくいんへ異動されました。新しい異動先でも頑張ってください。

支援員補助の菅野優子さん、政井喜久江さん、近藤恵さん、菅野匠さんが三月三十一日付けで退職されました。新しい環境でも頑張ってください。



寄附・表彰

イトーヨーカドー様
 クレハ労働組合格

(順不同)

編集後記

新年度を迎え、また新たに気持ちを入れ替え、仕事に取り組んでいきたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。